

平成29年度当初予算知事審査における主要な議論（都市整備部）

■ 都市整備部公共事業（公共）

知事 拡張工事を予定している、さきたま古墳公園などの利用者数は把握しているのか。

担当部局 有料施設の無い公園の利用者数は把握していない。公園内にあるさきたま史跡の博物館は、年間11万人～12万人程度が利用している。

知事 拡張部分の活用方法について、例えば博物館からニーズを聞くなど検討しているのか。

担当部局 博物館から意見は聞いていない。体験や工作などで活用してもらえると考える。

知事 利用状況を確認しながら、整備後の利用拡大策を周辺施設とも協議して進めること。

■ 公園等建設費（B19）

担当部局 熊谷スポーツ文化公園について、環境部からは木陰の創出を求められており、整備案を作成したところ、総事業費で約10億円を見込んだ。しかし、コスト削減を図るべきではないかとの指摘を受け、2億円～6億円までの様々な案を考えてきた。

知事 コスト削減をできるだけ図らなければならない。その一方で、並木として木陰や景観上不十分では効果が得られない。4億6千万円の案はコスト削減上妥当ではあるが、樹高がまばらでは問題があるのではないかと。並木の樹高を10mに統一してはどうか。

また、小森のオアシスについても、木の生長のことも考え、本数を減らすなどコスト削減を再検討してほしい。

（後日審査）

担当部局 並木は樹高を10mで統一し、小森のオアシスは、木の本数を6mピッチ33本から8mピッチ24本に変更した。

■ 子育て世代・多子世帯向け住宅支援事業費（B34）

知事 補助件数を500件とした理由は何か。

担当部局 どのぐらいの方がこの補助制度を利用するかという観点から検討した。住み替えを希望する子ども2人以上の世帯は約8万3,600世帯ある。このうち、3年以内に住み替えを希望し、かつ住み替え先に持家の分譲住宅を希望している世帯は2,400世帯であると推計されることを参考にした。3年間で

1,500件補助すると考えると、そのうちの約6割をカバーできる。

知 事 補助限度額を40万円とした理由は何か。

担当部局 既に実施している中古住宅取得の補助限度額と同額の40万円とした。補助対象となっている登記手数料やローン保証料などの諸経費で、中古は90万円、新築は100万円程度の費用が発生しているため、その半分程度を支援する考えである。

知 事 半分程度という考えであれば、新築は50万円になるのではないか。マンションを購入する場合、4LDKと3LDKとの価格差は一般的にはどの程度なのか。

担当部局 物件によって様々であるが、調査したところでは500～600万円程度である。

知 事 50万円であれば、500万円の差額のうち概ね1割程度の補助ということか。補助限度額についてももう一度整理すること。

担当部局 中古住宅の場合は、リフォームも加わると補助限度額は50万円となっている。

知 事 現場の声をよくヒアリングするなどして、補助限度額の考え方をもう一度整理すること。

(後日審査)

担当部局 御指摘を受け、補助限度額は50万円とさせていただきたい。例えば50万円という金額は未就学児の子育てにかかる年間費用(約104万円)の半分程度でもあるので、住宅メーカー等もより広い住宅の購入に誘導するのに十分効果があるという意見である。

また、戸建ての子育て応援住宅はベビーカー置場の設置や階段を緩やかにすることが認定要件となっているが、面積にして2㎡、金額にして50万円程度増加するため、その分を支援することができる。

知 事 この補助金を受ける人がイメージしやすい、分かりやすい説明を整理すること。

平成29年度予算見積調書

課室名：市街地整備課・公園スタジオム課

担当名：

内線：

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業																																					
B1～ B2	公共事業（都市整備部）	一般会計	土木費	都市計画費	土地区画整理費 公園費	社会資本整備総合交付金（区画整理）事業費 社会資本整備総合交付金（公園）事業費																																					
事業期間	根拠法令	土地区画整理法、都市公園法等		戦略項目																																							
				分野施策																																							
1 事業の概要			5 事業説明																																								
(1) 区画整理事業 987,251千円 (2) 公園事業 757,442千円			(単位 千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">平成29年度 整理案 (A)</th> <th rowspan="2">平成28年度 当初予算額 (B)</th> <th colspan="2">対前年度比較 (A-B)</th> </tr> <tr> <th>増減額</th> <th>(伸び率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区 画</td> <td>987,251</td> <td>1,120,098</td> <td>△ 132,847</td> <td>(△ 11.9 %)</td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>987,251</td> <td>1,120,098</td> <td>△ 132,847</td> <td>(△ 11.9 %)</td> </tr> <tr> <td>公 園</td> <td>757,442</td> <td>869,996</td> <td>△ 112,554</td> <td>(△ 12.9 %)</td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>757,442</td> <td>869,996</td> <td>△ 112,554</td> <td>(△ 12.9 %)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,744,693</td> <td>1,990,094</td> <td>△ 245,401</td> <td>(△ 12.3 %)</td> </tr> <tr> <td>国庫補助</td> <td>1,744,693</td> <td>1,990,094</td> <td>△ 245,401</td> <td>(△ 12.3 %)</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	平成29年度 整理案 (A)	平成28年度 当初予算額 (B)	対前年度比較 (A-B)		増減額	(伸び率)	区 画	987,251	1,120,098	△ 132,847	(△ 11.9 %)	国庫補助	987,251	1,120,098	△ 132,847	(△ 11.9 %)	公 園	757,442	869,996	△ 112,554	(△ 12.9 %)	国庫補助	757,442	869,996	△ 112,554	(△ 12.9 %)	合 計	1,744,693	1,990,094	△ 245,401	(△ 12.3 %)	国庫補助	1,744,693	1,990,094	△ 245,401	(△ 12.3 %)
区 分	平成29年度 整理案 (A)	平成28年度 当初予算額 (B)	対前年度比較 (A-B)																																								
			増減額	(伸び率)																																							
区 画	987,251	1,120,098	△ 132,847	(△ 11.9 %)																																							
国庫補助	987,251	1,120,098	△ 132,847	(△ 11.9 %)																																							
公 園	757,442	869,996	△ 112,554	(△ 12.9 %)																																							
国庫補助	757,442	869,996	△ 112,554	(△ 12.9 %)																																							
合 計	1,744,693	1,990,094	△ 245,401	(△ 12.3 %)																																							
国庫補助	1,744,693	1,990,094	△ 245,401	(△ 12.3 %)																																							
2 事業主体及び負担区分 (1) (国1/2 県1/4 市1/4) 事業者0 等 (2) (国1/2 県1/2) 等			(重点的な取組) ア 土地区画整理事業 987,251千円 周辺の関連事業と併せて整備を行うことで高い事業効果が発現する地区に重点化して予算配分 (平成29年度 6地区) イ 公園事業 757,442千円 東部地域の4公園を重点化して計画的に整備 (さきたま古墳公園、羽生水郷公園、まつぶし緑の丘公園、権現堂公園) 老朽化が進む公園施設について、長寿命化計画に基づき計画的に改築・更新を実施 (大宮公園、秩父ミュージアムパーク)																																								
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%																																											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.4人=79,800千円																																											
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比																																			
		国庫支出金	分担金 及び負担金	諸収入	県債																																						
決定額	1,744,693	870,213	227,006	5	645,000		2,469	△ 245,401																																			
前年額	1,990,094	1,017,300	255,675	6	714,000		3,113																																				

平成29年度予算見積調書

課室名：公園スタジアム課
 担当名：公園計画・事業担当
 内線：5397

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業																
B19	公園等建設費 (熊谷スポーツ文化公園木かけ創出事業)			一般会計	土木費	都市計画費	公園費	公園等施設整備費																
事業期間	平成29年度 ～平成30年度	根拠法令	土地区画整理法、都市公園法等			戦略項目	04 地域をつなぐ社会基盤の整備																	
					分野施策	051246 みどりの保全と再生																		
1 事業の概要 地域の特色を活かしながら県民のニーズに対応した公園整備を進めるとともに、誰もが安全で快適に利用できる公園施設の充実を図る。 (1) 熊谷スポーツ文化公園木かけ創出事業 453,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ラグビーワールドカップ2019の会場となる熊谷スポーツ文化公園において来園者のおもてなしとして並木や小森を整備し、木かけを創出する。 公園内を移動する観客の流れなどを考えながら、みどりのボリュームを生かした並木の創出と、これに連続して公園内の施設に誘う小さな森を整備する。 ア 並木の創出 410,000千円 イ 小森の整備 43,000千円 (2) 事業計画 平成29年度 並木の創出、小森の整備 平成30年度 並木の創出、小森の整備																				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				単位：千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>並木の創出</td> <td>410,000</td> <td>70,000</td> <td>480,000</td> </tr> <tr> <td>小森の整備</td> <td>43,000</td> <td>14,630</td> <td>57,630</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>453,000</td> <td>84,630</td> <td>537,630</td> </tr> </tbody> </table>						H29	H30	計	並木の創出	410,000	70,000	480,000	小森の整備	43,000	14,630	57,630	合計	453,000	84,630	537,630
	H29	H30	計																					
並木の創出	410,000	70,000	480,000																					
小森の整備	43,000	14,630	57,630																					
合計	453,000	84,630	537,630																					
3 地方財政措置の状況 一般単独事業債（充当率75%） 地域活性化事業債（充当率90%）				(3) 事業効果 観客の動線となる並木を創出することにより、ラグビー場まで涼しく快適に到着できる。 大会後も、真夏のクールスポットとして熊谷スポーツ文化公園の魅力がアップする。																				
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4人=38,000千円				(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 並木及び小森の整備には「彩の国みどりの基金」を活用し、小森の植栽には寄付者の芳名板を設置する。 利用者への影響の少ない時期に工事を実施するため、公園の利用実態を考慮し、各スポーツ団体及び指定管理者等と工程調整等を行う。																				
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比															
決定額	453,000	繰入金	48,000	県債	405,000			0	453,000															
前年額																								

平成29年度予算見積調書

課室名：住宅課
 担当名：企画担当
 内線：5571

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業										
B34	子育て世代・多子世帯向け住宅支援事業費 (多子世帯向け新築住宅取得支援事業)		一般会計	土木費	住宅費	住宅総務費	子育て世代・多子世帯向け住宅支援事業費										
事業期間	平成29年度 ～平成31年度	根拠法令				戦略項目	01 結婚・出産・子育ての希望実現										
	分野施策					010101 きめ細かな少子化対策の推進											
1 事業の概要 少子化対策として、一定の要件を満たす優良な新築住宅の取得を支援することにより多子世帯の居住環境を向上させ、住宅面から希望する数の子供が持てる環境づくりを促進する。 (1) 多子世帯向け新築住宅取得支援事業 251,000千円			5 事業説明 (1) 事業内容 多子世帯向け新築住宅取得支援事業 251,000千円 多子世帯(18歳未満の子が3人以上の世帯、18歳未満の子が2人で3人目を希望する夫婦がともに40歳未満の世帯)が、一定要件を満たす子育てしやすい新築住宅の取得を支援する。 (2) 事業計画 500件×3年 計1,500件 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取得予定件数</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table> (3) 事業効果 多子世帯が子育てしやすい住宅に住み替えることを支援することにより、住環境の向上及び子供を産み育てたい気運の醸成を図る。						H29	H30	H31	計	取得予定件数	500	500	500	1,500
	H29	H30	H31	計													
取得予定件数	500	500	500	1,500													
2 事業主体及び負担区分 事務費(県10/10) 事務費以外(国45/100・県55/100)																	
3 地方財政措置の状況 なし																	
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.2人=20,900千円																	
予算額		財源内訳					一般財源	前年との 対比									
		国庫支出金															
決定額	251,000	112,500					138,500	251,000									
前年額																	